

進級・卒業

進級

(1) 進級要件

Ⅶ. 諸規則「第2年次への進級に関する内規」に基づき、1年次から2年次への進級に必要な単位は28単位です。1年次修了時点で卒業要件科目のうち28単位以上修得した者は、修得科目に関わらず2年次へ進級できます。

他の学年次に進級要件はありません。

なお、1セメスター休学した場合でも次の学年に進級します。ただし、2セメスター連続して休学した場合は、原級にとどまります。

(2) 進級時期

進級時期は、3月のみです。春学期修了時点で進級要件を充足しても年度途中に進級することはできません。

(3) 進級不可(留年)について

進級不可(留年)となった学生については、3月中旬に保証人宛に通知します。

(4) 1年次の留学希望者について

1年次に海外への留学を希望する者は、進級と関わりがありますので、必ず事前に名城公園キャンパス事務室まで相談に来てください。

卒業

(1) 卒業要件

大学を卒業するためには、以下の2点を満たさなければなりません。

①通算して4年(8セメスター)以上在学した者(休学期間は除く)。

②「愛知学院大学学則」第8条に定められている所定の128単位(卒業に必要な単位数)を修得した者。

注) 4年次修了時点で上記の条件を満たしていなければ、128単位以上修得していても卒業することはできません。

(2) 学位の授与

卒業要件を充足した者は、「愛知学院大学学則」第37条により学士(経営学)の学位が授与されます。

(3) 卒業時期

卒業時期は、3月または9月のいずれかです。

①3月卒業

4年次秋学期修了時点で卒業要件を充足した者(上記「卒業要件」参照)。

卒業可能者は、3月上旬に保証人宛に通知します。

②9月卒業

4年次春学期修了時点で、4年(8セメスター)以上在学し、卒業要件を充足した者(上記「卒業要件」参照)。

卒業可能者は、9月中旬に保証人宛に通知します。

(4) 卒業不可(留年)について

卒業不可(留年)となった学生については、3月上旬に保証人宛に通知します。

次年度以降の卒業に関する調査を行います。所定の用紙を履修登録期間までに名城公園キャンパス事務室へ提出してください。

進級・卒業要件充足状況の確認方法

WebCampusで、履修登録をした科目の進級・卒業要件充足状況を確認することができます。

カリキュラム概要

組織マネジメントコース

卒業するためにはⅦ.諸規則「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 36 単位	+	専門教育科目 76 単位	+	グレーゾーン 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・○は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。

教養教育科目（36 単位）

分 野	要件単位		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
	分野合計	内訳				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②			
教養基幹科目	20単位 (注1)		教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①	教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①		
		4単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②			
外国語科目	第1外国語	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①	英語Ⅰc・Ⅱc 各①		
	第2外国語	2単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ、スペイン語Ⅰ・Ⅱ 各①（1言語を選択）			
	文化事情	2単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、韓国文化事情、スペイン文化事情 各②（1科目を選択）			
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①			
合計	36単位	(注1)「教養基幹科目」において、20単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 ※ 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.17を参照。				

自由選択科目（卒業要件に算入せず）

自由選択科目	卒業要件に算入しない	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
		キャリア・デザイン②			
		※サービスマニエール実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②、地域連携学Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②			
		※長期インターンシップ④			

※2015年度以降入学生のみ履修可能
(詳細についてはP.62・63を参照)

カリキュラム概要

専門教育科目 (76 単位)

分野		要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次		
		総計	内訳						
基礎科目	Ⅰ群	76単位④	48単位	20単位	経営入門Ⅰ・Ⅱ 各②				
					経営情報論、ICTビジネス、初級簿記Ⅰ・Ⅱ 各②				
				会計学入門Ⅰ・Ⅱ、マーケティング管理論Ⅰ・Ⅱ、人事管理論Ⅰ・Ⅱ 各②					
コース指定科目12単位						バーチャルカンパニーⅠA・ⅠB 各②			
						経営科学、マーケティング・リサーチ、環境ビジネス論、経営環境論、起業論、製品開発論、企業倫理、コーポレート・ガバナンス、経営戦略Ⅰ・Ⅱ、経営統計Ⅰ・Ⅱ、ウェブデザイン、プログラミング、組織論Ⅰ・Ⅱ、ベンチャービジネス論、経営と法務、経営と税務 各②			
						グローバル戦略論、リーダーシップ論、モチベーション論、中小企業経営論Ⅰ・Ⅱ、ベンチャービジネス実践研究、バーチャルカンパニーⅡA・ⅡB 各②			
アントレプレナーシップ入門 ②									
			中級簿記Ⅰ・Ⅱ、上級簿記Ⅰ・Ⅱ、キャリア構想講座A・B・C、簿記特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②						
				生産管理論Ⅰ・Ⅱ、金融論、原価計算Ⅰ・Ⅱ、現代経済学A・B、サービス・マーケティング論、消費者行動論、財務会計Ⅰ・Ⅱ、財務管理論Ⅰ・Ⅱ、国際コミュニケーションⅠ・Ⅱ、先端経営講座A・B・C・D、財政学A・B、アプリケーション開発Ⅰ・Ⅱ 各②					
				会計監査、ファイナンス分析、管理会計Ⅰ・Ⅱ、経営工学、サプライチェーン・マネジメント、国際会計Ⅰ・Ⅱ、国際マーケティング論、財務諸表分析、マーケティング戦略論Ⅰ・Ⅱ、ブランド・マネジメント論 各②					
				総合民法、中部経済論、地域ビジネス論、エリア・リサーチA・B・C 各②					
演習・外国語科目	Ⅱ群	76単位④	2単位	基礎演習②					
				ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ、海外体験演習 各②					
				ビジネス英語Ⅲ・Ⅳ 各②					
				専門演習Ⅰ②	専門演習Ⅱ・Ⅲ 各②	専門演習Ⅳ・Ⅴ 各② 卒業論文④			
実習科目		76単位④	4単位	ビジネス情報リテラシーⅠ・Ⅱ 各①					
				ビジネス・ゲーム実習 ①					
				経営管理実習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD 各①					
				経営管理実習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD 各①					

※76単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。

グレーゾーン (16 単位)

分野		要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目		16 単位	英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ・Ⅱ、英語読解Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ 各① 英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現Ⅲ・Ⅳ、英語読解Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各① ドイツ語Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎) 各① 中国語Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各① フランス語Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各① 韓国語Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各① スペイン語(注1) スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ 各① 海外事情Ⅰ・Ⅱ 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①			
			キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 各②、基礎経営実務⑥ キャリア・デザインⅢ・Ⅳ、産官民提携講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 各② キャリア・デザインⅤ・Ⅵ、インターンシップ 各②			
			・「教養教育科目」のうち、「教養基幹科目」の要件 20 単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件 76 単位を超えて修得した科目の単位 ・「単位互換科目」で修得した単位			
			「他学部・他学科科目」で修得した単位 (24 単位まで算入可) ※グレーゾーンの要件16単位を超えた場合は、8単位まで「専門教育科目」④に算入される			

(注1) フランス語はⅠ・Ⅱ(基礎)、Ⅲ・Ⅳ(総合)のみ開講

カリキュラム概要

生産マーケティングコース

卒業するためにはⅦ.諸規則「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 36 単位	+	専門教育科目 76 単位	+	グレーゾーン 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・○は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。

教養教育科目（36 単位）

分 野	要件単位		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
	分野合計	内訳				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②			
教養基幹科目	20単位 (注1)		教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①	教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①		
		4単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②			
外国語科目	第1外国語	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①	英語Ⅰc・Ⅱc 各①		
	第2外国語	2単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ、スペイン語Ⅰ・Ⅱ 各①（1言語を選択）			
	文化事情	2単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、韓国文化事情、スペイン文化事情 各②（1科目を選択）			
健康総合 科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①			
合計	36単位	(注1)「教養基幹科目」において、20単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 ※ 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.17を参照。				

自由選択科目（卒業要件に算入せず）

自由選択 科目	卒業要件に 算入しない	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
		キャリア・デザイン②			
		※サービスラーニング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②、地域連携学 B・C・D 各②			
		※長期インターンシップ④			

※2015年度以降入学生のみ履修可能
(詳細についてはP.62・63を参照)

カリキュラム概要

専門教育科目（76 単位）

分野		要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
		総計	内訳				
基礎科目		76 単位 ④	20 単位	経営入門Ⅰ・Ⅱ 各② 経営情報論、ICTビジネス、初級簿記Ⅰ・Ⅱ 各② 会計学入門Ⅰ・Ⅱ、マーケティング管理論Ⅰ・Ⅱ、人事管理論Ⅰ・Ⅱ 各②			
応用科目	I 群		コース指定科目 12 単位		バーチャルカンパニーⅠA・ⅠB 各② 生産管理論Ⅰ・Ⅱ、経営科学、マーケティング・リサーチ、環境ビジネス論、起業論、製品開発論、経営戦略Ⅰ・Ⅱ、ウェブデザイン、プログラミング、ベンチャービジネス論、サービス・マーケティング論、消費者行動論、アプリケーション開発Ⅰ・Ⅱ 各② 経営工学、サプライチェーン・マネジメント、国際マーケティング論、中小企業経営論Ⅰ・Ⅱ、ベンチャービジネス実践研究、マーケティング戦略論Ⅰ・Ⅱ、バーチャルカンパニーⅡA・ⅡB、ブランド・マネジメント論 各②		
	II 群			アントレプレナーシップ入門 ② 中級簿記Ⅰ・Ⅱ、上級簿記Ⅰ・Ⅱ、キャリア構想講座A・B・C、簿記特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各② 経営環境論、企業倫理、コーポレート・ガバナンス、金融論、経営統計Ⅰ・Ⅱ、原価計算Ⅰ・Ⅱ、現代経済学A・B、財務会計Ⅰ・Ⅱ、財務管理論Ⅰ・Ⅱ、組織論Ⅰ・Ⅱ、国際コミュニケーションⅠ・Ⅱ、先端経営講座A・B・C・D、財政学A・B、経営と法務、経営と税務 各② 会計監査、ファイナンス分析、管理会計Ⅰ・Ⅱ、グローバル戦略論、リーダーシップ論、モチベーション論、国際会計Ⅰ・Ⅱ、財務諸表分析 各②			
演習・外国語科目			2 単位		基礎演習② ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ、海外体験演習 各② ビジネス英語Ⅲ・Ⅳ 各② 専門演習Ⅰ② 専門演習Ⅱ・Ⅲ 各② 専門演習Ⅳ・Ⅴ 各② 卒業論文④		
実習科目			4 単位	ビジネス情報リテラシーⅠ・Ⅱ 各① ビジネス・ゲーム実習 ① 経営管理実習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD 各① 経営管理実習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD 各①			

※76単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。

グレーゾーン（16 単位）

分野		要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目		16単位	英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現法Ⅰ・Ⅱ、英語読解法Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ 各①			
			英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現法Ⅲ・Ⅳ、英語読解法Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各①			
			ドイツ語Ⅰ（基礎）・Ⅱ（基礎） 各①			
			中国語Ⅲ（読解）・Ⅳ（読解）、Ⅲ（表現）・Ⅳ（表現）、Ⅲ（総合）・Ⅳ（総合）、韓国語Ⅲ（読解）・Ⅳ（読解）、Ⅲ（表現）・Ⅳ（表現）、Ⅲ（総合）・Ⅳ（総合）、会話Ⅰ・Ⅱ 各①			
			フランス語Ⅲ（読解）・Ⅳ（読解）、Ⅲ（表現）・Ⅳ（表現）、Ⅲ（総合）・Ⅳ（総合）、韓国語Ⅲ（読解）・Ⅳ（読解）、Ⅲ（表現）・Ⅳ（表現）、Ⅲ（総合）・Ⅳ（総合）、会話Ⅰ・Ⅱ 各①			
韓国語Ⅲ（読解）・Ⅳ（読解）、Ⅲ（表現）・Ⅳ（表現）、Ⅲ（総合）・Ⅳ（総合）、会話Ⅰ・Ⅱ 各①						
スペイン語（注1）Ⅲ（読解）・Ⅳ（読解）、Ⅲ（表現）・Ⅳ（表現）、Ⅲ（総合）・Ⅳ（総合）、会話Ⅰ・Ⅱ 各①						
スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ 各①						
海外事情Ⅰ・Ⅱ 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①						
専門教育科目	キャリア・デザイン科目		キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 各②、基礎経営実務⑥			
		キャリア・デザインⅢ・Ⅳ、産官民提携講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 各②				
		キャリア・デザインⅤ・Ⅵ、インターンシップ 各②				
		・「教養教育科目」のうち、「教養基幹科目」の要件 20 単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件 76 単位を超えて修得した科目の単位 ・「単位互換科目」で修得した単位				
		「他学部・他学科科目」で修得した単位（24 単位まで算入可） ※グレーゾーンの要件16単位を超えた場合は、8単位まで「専門教育科目」④に算入される				

(注1) フランス語はⅠ・Ⅱ（基礎）、Ⅲ・Ⅳ（総合）のみ開講

カリキュラム概要

会計コース

卒業するためにはⅦ.諸規則「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 36 単位	+	専門教育科目 76 単位	+	グレーゾーン 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・○は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。

教養教育科目（36 単位）

分 野	要件単位		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
	分野合計	内訳				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②			
教養基幹科目	20単位 (注1)		教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①	教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①		
		4単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②			
外国語科目	第1外国語	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①	英語Ⅰc・Ⅱc 各①		
	第2外国語	2単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ、スペイン語Ⅰ・Ⅱ 各①（1言語を選択）			
	文化事情	2単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、韓国文化事情、スペイン文化事情 各②（1科目を選択）			
健康総合 科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①			
合計	36単位	(注1)「教養基幹科目」において、20単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 ※ 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.17を参照。				

自由選択科目（卒業要件に算入せず）

自由選択 科目	卒業要件に 算入しない	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
		キャリア・デザイン②			
		※サービスラーニング実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②、地域連携学 B・C・D 各②			
		※長期インターンシップ④			

※2015年度以降入学生のみ履修可能
(詳細についてはP.62・63を参照)

カリキュラム概要

専門教育科目（76 単位）

分野		要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
		総計	内訳				
基礎科目		76 単位 ①	20 単位	経営入門Ⅰ・Ⅱ 各②			
	経営情報論、ICTビジネス、初級簿記Ⅰ・Ⅱ 各②						
会計学入門Ⅰ・Ⅱ、マーケティング管理論Ⅰ・Ⅱ、人事管理論Ⅰ・Ⅱ 各②							
応用科目	Ⅰ 群		コース 指定科目 12 単位	中級簿記Ⅰ・Ⅱ、上級簿記Ⅰ・Ⅱ、簿記特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②			
				経営科学、金融論、経営統計Ⅰ・Ⅱ、原価計算Ⅰ・Ⅱ、財務会計Ⅰ・Ⅱ、財務管理論Ⅰ・Ⅱ、プログラミング、アプリケーション開発Ⅰ・Ⅱ、経営と税務 各②			
				会計監査、ファイナンス分析、管理会計Ⅰ・Ⅱ、国際会計Ⅰ・Ⅱ、財務諸表分析 各②			
			アントレプレナーシップ入門 ②				
			キャリア構想講座A・B・C 各②				
	Ⅱ 群		48 単位	バーチャルカンパニーⅠA・ⅠB 各②			
				生産管理論Ⅰ・Ⅱ、マーケティング・リサーチ、環境ビジネス論、経営環境論、起業論、製品開発論、企業倫理、コーポレート・ガバナンス、経営戦略Ⅰ・Ⅱ、現代経済学A・B、ウェブデザイン、組織論Ⅰ・Ⅱ、ベンチャービジネス論、国際コミュニケーションⅠ・Ⅱ、先端経営講座A・B・C・D、財政学A・B、サービス・マーケティング論、消費者行動論、経営と法務 各②			
		グローバル戦略論、経営工学、サプライチェーン・マネジメント、リーダーシップ論、モチベーション論、国際マーケティング論、中小企業経営論Ⅰ・Ⅱ、ベンチャービジネス実践研究、マーケティング戦略論Ⅰ・Ⅱ、バーチャルカンパニーⅡA・ⅡB、ブランド・マネジメント論 各②					
		総合民法、中部経済論、地域ビジネス論、エリア・リサーチA・B・C 各②					
演習・ 外国語 科目		2 単位	基礎演習②				
	ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ、海外体験演習 各②						
			ビジネス英語Ⅲ・Ⅳ 各②				
	専門演習Ⅰ②				専門演習Ⅱ・Ⅲ 各②	専門演習Ⅳ・Ⅴ 各② 卒業論文④	
実習 科目		4 単位	ビジネス情報リテラシーⅠ・Ⅱ 各①				
	ビジネス・ゲーム実習 ①						
			経営管理実習ⅠA・ⅠB・ⅠC・ⅠD 各①				
	経営管理実習ⅡA・ⅡB・ⅡC・ⅡD 各①						

※76単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。

グレーゾーン（16 単位）

分野		要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目		16単位	英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ・Ⅱ、英語読解Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ 各①				
			英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現Ⅲ・Ⅳ、英語読解Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各①				
			ドイツ語 中国語 フランス語 韓国語 スペイン語（注1）	Ⅰ（基礎）・Ⅱ（基礎） 各①			
			Ⅲ（読解）・Ⅳ（読解）、Ⅲ（表現）・Ⅳ（表現）、Ⅲ（総合）・Ⅳ（総合）、 会話Ⅰ・Ⅱ 各①				
			スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ 各①				
海外事情Ⅰ・Ⅱ 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①							
専門教育科目	キャリア・ デザイン 科目		キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 各②、基礎経営実務⑥				
			キャリア・デザインⅢ・Ⅳ、産官民提携講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 各②				
			キャリア・デザインⅤ・Ⅵ、 インターンシップ 各②				
			・「教養教育科目」のうち、「教養基幹科目」の要件 20 単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件 76 単位を超えて修得した科目の単位 ・「単位互換科目」で修得した単位				
			「他学部・他学科科目」で修得した単位（24 単位まで算入可） ※グレーゾーンの要件16単位を超えた場合は、8単位まで「専門教育科目」④に算入される				

（注1）フランス語はⅠ・Ⅱ（基礎）、Ⅲ・Ⅳ（総合）のみ開講

I. 大学で学ぶために

II. 履修関連事項

III. 授業・試験・成績

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ

VII. 諸規則

地域・社会連携コースの説明 ～新しいことに挑戦し、視野を広め、課題解決する力を身につけたい人へ～

地域・社会連携コースは学部授業とは別に社会人基礎力を身につけることを目的とし、1年次より設定したAGU独自のカリキュラムです。どの学部の学生も自由に参加できます。

1 地域・社会連携コースの特色

●身に付く能力

経済産業省が提唱している、人生100年時代に求められるスキル「社会人基礎力」を身につけ、仕事での活躍はもちろん、生活する地域でも活躍する「地域貢献」型の人材を目指しましょう。

●社会人基礎力とは

●前に踏み出す力(アクション) ～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む～

主体性:物事に進んで取り組む力
働きかける力:他人に働きかけ巻き込む力
実行力:目的を設定し確実に行動する力



●考え抜く力(シンキング) ～疑問を持ち、考え抜く～

課題発見力:現状を分析し目的や課題を明らかにする力
計画力:課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
創造力:新しい価値を生み出す力



●チームで働く力(チームワーク) ～多様な人々とともに、目標に向けて協力する～

発信力:自分の意見をわかりやすく伝える力
傾聴力:相手の意見を丁寧に聴く力
柔軟性:意見の違いや立場の違いを理解する力
状況把握力:自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力
規律性:社会のルールや人との約束を守る力
ストレスコントロール力:ストレスの発生源に対応する力



参考:経済産業省 「人生100年時代の社会人基礎力」

●コーディネーターによる学生支援

様々な協力者との連携により授業の内容が構成されています。コーディネーターは授業の担当教員でもあり、プログラムの調整、学生の指導を行います。各授業について、履修相談から活動中の困りごとなど適宜、相談にのります。

2 科目の説明

I. サービスラーニング実習Ⅰ～Ⅳ

行政・非営利団体(NPO)・商店街・企業と連携し様々な社会課題を知り、活動するプログラム。連携先の団体と活動する入門的な実習科目です。事前に専門的な知識を身に付ける必要は無く、活動を通して理解を深めます。例えば、高齢化による認知症の問題を考えるプログラムでは、行政の取組みや当事者との交流を行います。ボランティアの活動、講義形式の授業、グループワーク、打ち合わせなど1つのプログラム(実習科目)の中に様々な活動の形態があります。活動と思考を繰り返しながら社会課題に取り組む意義を理解します。何かやってみたいと思う気持ちがあれば参加できます。

II. 地域連携学A・B

地域・社会の問題に取り組む実務家を講師に招き、講義を行います。実務家とは、非営利団体(NPO)、企業、行政などで働く方々です。講義を聴くだけでなく、グループでのディスカッションや講師との対話から、学びと気づきを共有します。

III. 地域連携学C・D

地域連携学C・Dはフィールドワークを行うプログラムです。地域連携学Cでは、2011年の東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故により避難区域に指定されていた福島県川俣町に赴き、避難解除後の復興の現状を知り、地域の方々と交流を通して学び気づきを得ます。地域連携学Dでは北海道の厚沢部町で、過疎化が進む地域でファームステイをしながら交流を通して町が抱える過疎化の課題解決を考え実践します。

IV. 課題解決型演習Ⅰ～Ⅳ

課題解決に必要な基礎素養を学ぶとともに、NPO、商店街・企業グループ・学校等と連携、実務家の方々と一緒に地域の課題解決プロジェクトを企画立案することを通して、調査、分析、提案という課題解決のスキルの習得を目標とする企画実践型のプログラムです。「名古屋城三の丸地区の関係づくり」プロジェクト等、社会連携センターの支援を受けながら連携先との協議を踏まえ、新しい地域づくりに挑戦します。

地域・社会連携コースの説明

～新しいことに挑戦し、視野を広め、課題解決する力を身につけたい人へ～

3 地域・社会連携コース科目の詳細

科目名	授業内容	開講年次	単位数	評価方法
サービスラーニング実習 I～IV	各テーマによるボランティア活動 事前学習 2日～3日の実習 振り返り会 レポート作成	1年次より履修可能	1単位 (卒業要件単位に算入されない)	認定
地域連携学A (産官民提携講座Ⅳ) 地域連携学B	実務家講師による講義 15回の講義形式の授業 記述式試験	2年次より履修可能	2単位 (卒業要件単位)	総合評価
地域連携学C・D	地域に赴きフィールドワーク 事前学習 2日～7日現地での活動 振り返り会 レポート作成	1年次より履修可能	2単位 (卒業要件単位に算入されない)	認定
課題解決型演習Ⅰ (産官民提携講座Ⅴ)	実務家講師による講義 15回の講義形式の授業 グループワークによる発表	2年次より履修可能	2単位 (卒業要件単位)	総合評価
課題解決型演習Ⅱ～Ⅳ	各テーマによるプロジェクト演習 調査、グループワーク、発表 ※プロジェクト毎に活動形態は異なります。	1年次より履修可能	2単位 (卒業要件単位に算入されない)	認定

4 履修方法について

- ①WebCampusにて募集が案内されたのち、社会連携センターのホームページ(<https://scc.agu.ac.jp/>)から申し込んでください。
春(4月)・秋(9月)頃に募集します。
 - ②定員を越える応募があった場合は抽選にて人数調整を行います。
 - ③受講が決まったら、受講開始までにコーディネーターの連絡に従い受講の準備を進めてください。
 - ④履修についての質問は下記アドレスまで問い合わせください。
社会連携センター メールアドレス m-ccc@dpc.agu.ac.jp
- ※商学部、経営学部、経済学部、法学部で開講している「産官民提携講座Ⅳ」「産官民提携講座Ⅴ」を受講する場合は、Web履修抽選より申込してください。

諸資格の取得

教職、司書、司書教諭

経営学部で取得できる以下の諸資格の取得を希望する学生は、卒業に必要な単位のほかに定められた単位を修得しなければなりません。教職課程は1年次生、司書課程は2年次生、司書教諭課程は3年次生から履修することができますが、学費とは別に課程登録料が必要になります。詳細については、それぞれの説明会で説明しますので、希望者は必ず出席してください(『資格課程履修要項』参照)。

- ・高等学校教諭1種免許状(商業)
- ・高等学校教諭1種免許状(公民)
- ・図書館司書資格
- ・学校図書館司書教諭資格

社会福祉主事

厚生労働省の定める「社会福祉に関する科目」を3科目以上修得し卒業することにより、「社会福祉主事資格(任用資格)」を取得することができます(三科目主事)。社会福祉主事とは、福祉施設や行政機関で援助や保護が必要な人に相談・援助・指導を行う専門家のことです。該当科目などの詳細は名城公園キャンパス事務室に問合せください。

仏教専修科について

本学に在籍する文学部宗教文化学科以外の宗内生(曹洞宗寺院の子弟)で、在学中仏教専修科に籍を置き、所定の単位を修得し、宗務庁で規定する特殊安居の回数以上を修了したものは、曹洞宗二等教師の補任を受けることができます。詳細は、文学部履修要項で確認できます。

エクステンションセンター(キャリアセンターキャリア支援課)

皆さんの就職試験および各種資格試験対策を支援するために、エクステンションセンターがあります。エクステンションセンターでは、公務員採用試験対策(国家・地方公務員)をはじめ、行政書士・宅建・簿記・FP技能・証券外務員一種・旅行業務取扱管理者や保育士など専門性が高い講座を開講しています。

他方、秘書やサービス接遇で習得するビジネスマナーやコミュニケーション力は幅広い職業で役立ちます。MOS(Word, Excel, PowerPoint)やTOEIC®は今後必要なスキルです。この機会に始めてみませんか。さらに、SPI(企業が採用試験で用いる筆記テスト)対策まで、皆さんのニーズに応えられる幅広い講座を用意しています。各種資格試験の願書も取り揃えています。

各講座についての詳細は、オリエンテーションで配布している「2025年度 資格取得支援講座案内」を参照してください。またWebCampusのエクステンションセンターのタブから、Webパンフレットも見ることができます。その他、4月上旬には、各専門学校の先生による合同説明会や、各講座ごとの個別説明会もあります。日程等は、大学アプリやWebCampusを通じてお知らせします。なお、ご意見・ご希望などがありましたら日進キャンパスのエクステンションセンター(3号館1階)または名城公園キャンパス事務室までお気軽にお申し出ください。